

診断京都

No. 136

2021 WINTER

<https://www.shindan-kyoto.com>



貴船神社

ANNIVERSARY
10th

一般社団法人
京都府中小企業診断協会

「変化・挑戦・貢献」を続ける、京都府中小企業診断協会は2021年に創立10周年を迎えました。

- 02 令和4年を迎えるにあたって
- 03 診断士の私の仕事
- 04 京の起業家
- 06 京都経済センターのご近所さん紹介
- 07 研究会紹介／協会活動報告
- 08 協会活動報告
- 09 理論政策更新研修講義
- 10 5RULES
- 11 年男・年女
- 12 My favorite・京都検定

あけましておめでとうございます

旧年中は京都府中小企業診断協会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。本年も変わらぬご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

昨年の我が国は、1月8日の緊急事態宣言発出から始まりました。その後も秋までまん延防止等重点措置と合わせてたびたび発出されました。そうした中、夏にはオリンピック、パラリンピックが開催されました。そして、秋には新型コロナ対応、経済対策、外交・安全保障対策など課題が山積する中、岸田内閣が誕生し、新たな一歩を踏み出すことになりました。

経済面では、全体として停滞が続く中、製造業では資源関連や輸出関連を中心に回復基調が見られました。一方で、非製造業では、とりわけ宿泊業・飲食サービス業や生活関連サービス業などで厳しい状況が続きました。

秋になって感染拡大が落ち着いたことから緊急事態宣言が全面解除されました。京都にも修学旅行生や国内観光客が戻り始めました。しかし、さあこれからと思われたその矢先、オミクロン株の脅威が世界に広がり、我が国でも経済面への影響が懸念されています。

京都協会では、コロナ禍の影響で新年祝賀会など対面での行事はできませんでした。一方で、研究会活動等は活気が戻ってきました。ハイブリッド方式に慣れてきたことや、秋以降、対面での開催が増えていることに由ります。また、11月には、京都経済センターとの新たな5年間の賃貸契約の申請を行いました。収支面では、残る第4四半期次第ではありますが、今年度も社会貢献積み立てができそうなところまで来ました。

コロナ禍の下にあったこの2年、私たちの生活やビジネスのさまざまな局面で環境変化の荒波が押し寄せています。中小企業診断士にも、デジタルトランスフォーメーション支援や事業継続計画策定支援などコロナ禍の先を見据えた様々な支援が求められています。京都協会も組織、活動、財政などいろいろな面で新しいあり方を構築する時が来ていると思います。5月の役員改選を機に、新しい京都協会のスタートが切れればと思います。

引き続き、京都府中小企業診断協会へのご協力、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって明るく、楽しい、幸多き年でありますよう心より祈念申し上げます。

会長
山脇 康彦



顧客の課題を深掘りし、 新たな発見につなげる支援を

ビジネス・コンサルティング フォル
テ代表。(公財) 経営品質協議会認定セ
ルフアセッサー。2006年に中小企業
診断士登録。対応領域は経営戦略、組
織力向上、経営幹部育成など。



公務員から診断士へ

大学卒業のタイミングがバブル崩壊後の就職氷河期と重なった私は、民間志望でしたが公務員に切り替え、ご縁のあった生駒市役所に入庁しました。最初に配属された文書課で文書管理システムの構築に従事。その時に民間のコンサルと一緒に仕事をすることがコンサルタントという仕事に興味を持ったきっかけです。コンサルといっても様々な分野がありますが、商学部出身で経営には関心が高かったことから、中小企業診断士を意識し始めました。とはいえ、出産もあるので「35歳までに合格しなかったらあきらめる」と決め、育休を利用して簿記の勉強からスタート。育児や仕事と並行しての勉強は大変でしたが、子どもが小学1年生の時に無事合格することができました。

市役所を退職したのは育児との両立を考えたからです。子どもの登校より早く出勤して、子どもより遅く帰宅する公務員の生活を続けるのは、自分が望む生き方ではない、自分の気持ちをだまし続けるのは無理だと感じて、独立の道を選びました。

独立後は、先輩診断士の紹介で講師や専門家派遣の仕事をいただくようになりました。診断士は「専門分野を持つべき」といわれますが、当時は必ず

しも強い専門性があったわけではありません。「できる仕事だから声がかかっている」と思い、足りない知識は都度勉強しながら講師の仕事をしていました。また、診断協会に当時あった経営品質研究会がきっかけで(公財)日本生産性本部主催の日本経営品質賞に興味を持ち、自主的に勉強して同賞の審査員の仕事をいただくようになりました。

診断よりファシリテーターとして

現在の仕事のほとんどは、経営品質関係です。賞に申請したい企業の依頼を受けて、経営戦略策定や計画の進捗支援、戦略実行に向けた組織力向上支援をしています。経営幹部・従業員の会議に入りファシリテーションしながら、課題は何かを深掘りし、新たな解決策を見つけ出すお手伝いが主。いろいろな思考フレームワークを提案し、考えの整理に役立ててもらうことはありますが、私が具体的な計画を策定することはないので、ファシリテーターという位置づけのほうが近いかもしれません。組織内にいると見えない課題について第三者視点で言葉を投げかけることで、企業の皆さまの新しい気づきや発見につながるよう力を注いでいます。

仕事で心がけているのは、経営学やマーケティングの古典的なフレームワークだけではなく、新たな経営トピックやイノベーションの理論は常にインプットし、引き出しを多く持つこと。組織支援には心理学系の理論も必要です。また、経営全体を広い視点で診ることも心がけています。

独立して15年。最初は仕事のペースが作れず試行錯誤の時期もありましたが、5～6年前に「将来の目標をあれこれ描いたり、過去の実績にとらわれたりすることはやめよう」と決め、日々着実に本気で向き合っていくことにシフトしました。そこからは腰を据えて仕事ができている実感があります。今後もあえて目標を定めず、目の前のことに真剣に取り組むスタンスで仕事をしていきたいです。

(立藤 慶子)



登山が趣味の山本さん。毎年雪山へ単独登山もされるそう。

京の起業家

31

夏号に登場いただきました「QUESTION」様の紹介で、靴磨き・修理の「革靴をはいた猫」の魚見航大さんにお話を伺いました。たくさんの想いや物語を感じる素敵な靴磨き屋さんです。



株式会社
革靴をはいた猫
代表取締役
魚見 航大 様

一度磨いた靴は一生面倒を見る

サービス内容や従業員の規模を教えてください。

京都市役所前の店舗と大丸百貨店京都店でスペースをお借りして靴磨きと靴の修理をやっています。靴磨きは、賛同を得た企業へ出張して実施することもあります。役員3名、従業員3名の他見習いが6名という陣容です。

手放す貢献プロジェクト

また大丸百貨店さんと一緒に「手放す貢献プロジェクト」をやっています。大丸百貨店で、お客様が履かなくなった靴を寄付していただき、修理をしてメンテナンスカード付きで販売します。例えば5千円の販売価格であれば、靴の値段が5千円ではなく、5千円分の修理などメンテナンスがセットされています。私たちは「一度磨いた靴は一生面倒を見る」という考え方を持っており、お客様との関係性を作りたくてあえてこういう形にしました。

障がいがあっても自立できる

創業の経緯を教えてください。

龍谷大学在学中に、障がいのあるメンバーが働くカフェの運営を手伝っていました。そ

のカフェの代表者が、靴磨きなら障がいがあっても一生の仕事としてやっていけるのではと考えていました。私もその思いに共感し、実践するため靴磨きの専門業者に他のメンバーと一緒に学んだことがきっかけです。当初は障がいのあるメンバーに教えてあげようとしていたのに、逆に自分自身のいろいろな部分が引き出されて成長していく、障がいのあるなし関わらず挑戦する場があれば人は変わっていくということを実感しました。卒業後は大学院に進学予定でしたが、仲間と一緒に活動を続けたくて、「やらなければ絶対後悔する」という思いに突き動かされて、在学中の2017年に会社を立ち上げました。

たくさんの応援者に支えられて

店舗の場所は京都市役所前という一等地ですし、大丸百貨店に出店することも創業間もない企業が簡単にできることではないと思います。出店のきっかけを教えてください。

すべて人とのつながりのおかげですね。今の店舗はデジタルプリントのお店の一部を間借りしています。先ほどお話しましたカフェ代表の旦那さんのご紹介です。私たちの活動に賛同してくれた店主さんが快く貸してくださっています。大丸とのご縁も私たちの活動を良く知る常連さんのご紹介で始まりました。



京都市役所前、御池通に面した店舗



鏡面仕上げでピカピカに磨き上げられた靴たち

色々な人に応援されて活動が続いているんですね。ここまで順風満帆のようにお見受けしますが、ご苦労されたことはありましたか？

たくさん苦労してきました。特に資金繰りが大変ですね。メンバーが増えて、できることも増えただけに必要な資金も増えて。特にコロナ禍の昨年は予定していた事業がすべて中止になるし、企業への出張靴磨きも中止になるしで大変でした。融資はもちろん受けていますし、クラウドファンディングもやったし、知人からお金を借りたこともあります。ただいろいろな経営者の方に教えを乞うて、ようやく商売というもの少しずつ分かってきました。出ていくお金と入ってくるお金のバランスの重要性を痛感しています。

商社で靴磨き

雇用の場づくりに力を入れていると伺いました。

技術を教え、職人を育てて障がいを持つ人でも挑戦し、働ける場づくりをしています。大阪の阪和興業株式会社という障がい者雇用に力をいれておられる商社にご賛同いただきまして、私たちのところで修業したスタッフ2名を靴磨き職人として雇っていただいています。

商社で靴磨き職人の雇用ですか。

阪和興業さんにはとても私たちの活動をご理解いただいています。靴磨きの出張も行っていただいていますし、お取引先もご紹介いただいています。出張靴磨きでは、会議中に靴を磨いて、会議終了後は靴がピカピカになって戻ってくるサービスで、ご好評いただいています。

自分たちだからこそできるサービスを磨いていく

最後に今後の目指す方向性を教えてください。

自分たちの強みを磨いていくことですね。私たちの靴磨きは、ウイスキーとワックスを混ぜてつま先をピカピカにする鏡面仕上げを施しています。ただこの技術自体は靴磨き屋であればどこでもやっていることです。技術そのもので差別化は難しいけれど、私たちの強みは人だと思っています。常連のお客様が、うちの店に通う理由を「雰囲気いいからね」とおっしゃってくれました。他のお客様からおっしゃっていただいたのも「ひとりひとりが全然違う。会話も違うし仕上がりも個性がでる。」そういったコミュニケーションや仕上がりの個性を楽しんでいただいているのかもしれない。狙ってできることではないけれど、そんな人が醸し出す雰囲気を大切に、私たちだからこそできるサービスを磨いていきたいです。(佐藤 智美)

店舗データ

京都市中京区亀屋町370-1 サンルミ御池1階
京都市営地下鉄東西線
京都市役所前駅 ゼスト御池9番出口すぐ
TEL : 090-8387-8143
営業時間 : 10時～19時(営業日 土日月)
メニュー : 靴磨き 1100円～
靴修理 ヒール交換 1200円～



革靴をはいた猫
kawaneko

上記店舗以外に大丸京都店5階でもショップを開設しています。
(期間 : 2022年2月まで)

株式会社革靴をはいた猫

Web : <https://kawaneko39.com/>

住所 : 〒604-0941

京都市中京区亀屋町370-1 サンルミ御池1階

京都経済センターのご近所さん紹介

416号室 一般社団法人 京都中小企業家同友会

今回は、一般社団法人京都中小企業家同友会事務局 事務局長 田島慎也さん、事務局員の梅田晃久さん、山口秋華さんにお話を伺いました。



(右から) 田島事務局長、梅田さん、山口さん



同会は、昨年50周年を迎え、2021年10月に50周年記念式典を実施されました。

同会には異業種の中小企業経営者が約1700名入会されており、「学び実践する経営者の組織」として運営されています。同会の目的は「よい会社・すぐれた経営者・経営環境の改善」です。そんな企業を増やし豊かな社会をつくっていく思いの元、こちらの事務局では会の事業や運営を支える役割を担っています。事務局員12名が勤務され、京都府下全域に関わる業務と各地域の支部を分担して担当しています。コロナ禍においては、最初の緊急事態宣言下でいち早くオンラインの活用に取り組み、zoomの勉強会企画や、補助金情報を会員企業に発信しました。コロナ禍であっても、対面による会員訪問は継続し、zoomだけでなく会員企業側が対面参加もできるようなハイブリッド型での会の運営の工夫をされています。

直近では50周年を節目として、2025年を目指した第8次ビジョンとして具体化したあるべき姿を提示されています。メインテーマを「幸せに暮らせる地域づくりの核となる経営者集団になろう!」とし、目指すべき企業像「地域の人々の暮らしを守り、地域を愛し、愛される企業になろう」目指すべき経営者像「社会課題と向き合い、明るい未来へ導く経営者になろう」そして、目指すべき同友会像「地域との繋がりを深め、人を大切にする仲間が増える団体となろう」それぞれ具体的に映像や文章で表現し、企



下京区の採択事業と「地域経済ビジョン【京都版】」

業や行政だけでなく地域や教育機関も巻き込んだ実践に取り組みられています。

最近の地域と連携した取組の一例としては、下京区のまちづくりサポート事業に採択され「まずはコレからエシカル消費!」があります。給水スポットのパートナーを増やし、給水スポットを可視化することで、マイボトルの利用促進を図る活動を実施されています。また、上京区では、上京区と同志社大学と連携し、「地域企業と大学生による地域課題解決」プロジェクトを実施して



事務局内の様子

います。地域企業にとっては自社では気づけなかった視点に気づくことで事業を発展させることにつながり、卒業しても上京区に住み続けていただくことを目指す取組となっています。

今回お話しをお聞きする中で、事務局の皆さんが信頼関係を大切にされて会員企業の学びの場や情報交換の場を丁寧に企画し運営されていること、また持続可能な地域づくりと企業づくりを一体のものとして捉えた具体的な活動を知ることが出来ました。会報誌もたいへん読み応えがあり地域企業について学べる内容となっています。経済センターに事務局はありますのでご興味のある方は是非お声がけしてみてくださいね。紹介による新入会員も受け付けられています。

(阪本 純子)

【法人概要・連絡先等はHPをご覧ください】

<https://kyoto.doyu.jp/>

研究会紹介

人材開発研究会



藤村リーダーに、「経営と人」の課題に関心のある方ならどなたでも参加できる」人材開発研究会について伺いました。久々にリアル取材が実現しました！

所属会員数	登録者24名
活動日・時間	原則として、毎月最終水曜日 19:00～20:30 (12月のみ休会)
設立年月日	2015年4月
代表者名	藤村正弘
幹事・事務局対応者名	佐藤智美(副責任者)
目的	中小企業におけるヒトに関する様々な課題を踏まえ、研究と提言を行う

—研究会の活動内容について教えてください。

活動は大きく3つとなります。

- ① 月例研究会 通常は、当番会員に自由にテーマを決めて、発表や問題提起をしていただき、その後、参加者全員でディスカッションを行います。
- ② 特別講演 毎年1回、外部から講師を招いています。
- ③ 成果レポート 毎年度末に会員有志が執筆し、発行しています。(B5版約90ページ)



研究会の成果レポート

—所属会員の特色、特長を教えてください。

キャリア、年齢、人事業務担当経験の有無など様々ですが、入会数年以内の方が比較的多く参加されていますね。企業内診断士の方が1/3程度おられます。2015年発足以来7期目を迎え、メンバーも増加しています。

—2021年度は例年と趣きを変えておられるとか？

はい、一企業の事例研究を行うワンテーマの活動をしています。本研究会員でもある中路和宏さんが経営される万松青果株式会社様のご協力をいただき、従業員の定着とモチベーションを中心に議論しています。従業員の皆さんにアンケートを取った後、会社内で2回にわたり従業員全員参加ヒアリングもさせていただき、その結果を分析中です。

また、会員の角丸善昭さんが同社の人材活用に着眼して書かれた記事が発端となって、「カンブリア宮殿」(TV大阪)でも紹介されるという時期と偶然重なり、その内容も含め、いろいろな角度で議論を重ねています。(放映シーンにはありませんでしたが、人材開発研究会の様子も取材されました。)

—京都協会会員の皆さんへのメッセージをお願いします。

コロナ禍は日本人の働き方自体を見直す機会となりましたが、我々診断士の活動にもますます人材の視点を取り入れる必要が増しているように思われます。

研究会には人事以外にも様々な経験・キャリアをお持ちの方が参加され

ていますので、ぜひお気軽にお越しいただき、交流を深めましょう。夜にわざわざ参加するのはハードルが高いですが、時間を割いて参加してよかった、楽しかったという研究会を目指しています。



活発に意見が交わされる研究会の様子

11月24日の研究会は京都市わかもの就職支援センター 田神 博様(現場責任者)と三重一貴様(事業推進員)の特別講演でした。中小企業の採用に有効な取り組みについて積極的な意見交換がなされ、相互に研鑽を図っておられる様子が伝わってきました。



特別講演
講師のお一人 三重様

(岡部 佳美)

協会活動報告

令和3年度 第2回理論政策更新研修 開催

去る10月2日(土)に京都駅前のメルパルク京都において、今年度2回目となる理論政策更新研修が行われました。第1講目は「京都市の産業と産業政策」と題しまして、京都市産業・文化融合戦略監・産業観光局長 北村信幸様にご講演いただきました。

第2講目は、「中小企業の生産性向上支援」と題しまして、京都協会の森井義英会員に講義いただきました。感染対策をとった会場で100名の方に受講頂きました。森井さんの講義概要は、9ページにご紹介いただいておりますので是非ご覧ください。(杉村 麻記子)



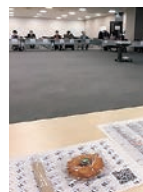
令和3年11月20日（土）に京都経済センターにおいて、毎年恒例の『会員交流会』が開催されました。協会へ入会してから3年以内の会員の方および協会理事の方々に参加いただき、協会の活動内容の共有や会員同士の交流を図るイベントです。

今回は山協会長、坂田副会長、岡原副会長、杉村理事のほか、35名の



会員が（うち3名はオンライン）参加しました。協会発足から10年の節目となる年度での開催であり、「10」をキーワードにプログラムを構成、進行しました。例えば、10項目を使って30秒で自己紹介を行う「参加者自己紹介10」、協会が主催する数々の事業から10事業を厳選して紹介する「事業紹介10」、特に活発に活動する10の研究会を紹介する「研究会紹介10」など。

その後、紹介を聞いて最も参加したい事業1位を選ぶアンケート企画や、研究会への勧誘を行うプロポーズ大作戦など全員参加、相互交流で大いに盛り上がりました。（内藤 朗人）



中小企業診断士の日「無料経営相談会」開催

令和3年11月6日（土）に、中小企業診断士の日のイベント「無料経営相談会」（場所：京都経済センター3階）を開催しました。経営相談会という形式での開催は、今年で3年目となります。



相談者（企業）は6社で、建設業・専門サービス業・教育業・食品卸売業・小売業・宿泊業の方々でした。新規創業・事業承継・事業再構築・新商品開発・海外展開・資金調達と幅広い

内容の経営相談がありました。

経営相談は、中小企業診断士6名がそれぞれの得意分野に合わせて対応しました。様々なバックグラウンドの人が居るといった中小企業診断士の良さを活かした経営相談会が開催できたのではないかと思います。

担当（敬称略）：赤田健行、今井俊和、白井皓大、塙 博夫、松下 晶、山口隆久
（白井 皓大）

中小企業診断協会近畿ブロック会議開催

令和3年11月12日（金）、和歌山マリーナシティホテルにおいて、令和3年度近畿ブロック会議が開催されました。会議前に行われた昼食会では、中小企業診断協会の米田英二会長の開会挨拶の後、和やかな雰囲気の中、各府県協会間での情報交換が行われました。その後、場所を移して近畿ブロック会議が開催されました。野口専務理

事からの本部連絡事項の後、各府県協会から活動報告があり、京都府中小企業診断協会からは山協会長が新型コロナウイルス感染により経営状況が悪化している中小企業・小規模事業者への支援として行っている活動をはじめ、各種の活動について報告を行いました。各府県協会間では活発な意見交換が行われ、次回開催県である滋賀県中

小企業診断士協会の田畑会長の閉会挨拶をもって、近畿ブロック会議は滞りなく終了しました。（鬼形 順子）



第2回 理論政策更新研修講義

— 中小企業の生産性向上支援 —



2021年10月2日に実施された理論政策更新研修において、「中小企業の生産性向上」というテーマで講演をさせていただきました。サブテーマとしては「生産性阻害要因の究明による経営改善」を掲げさせて頂き、生産性向上の支援手法とポイントについて解説させて頂きました。

まずオープニングに「1. 生産性向上について」として、生産性の定義や生産性向上の分類、その重要性についてアカデミックな内容を講義しました。そして本論である「2. 生産性向上の支援」では、京都府下の2社の支援事例をもとに、中小企業の生産性向上を目的とした伴走支援の手法や思わぬ落とし穴、これらを教訓とした支援における留意点など、ワークを交えながら惜しみなくお伝えさせて頂きました。さらに「3. コロナ禍における生産性向上」では、昨今の経済状況における最大のテーマであります“新型コロナウイルス感染症の拡大が続く環境下でいかに事業継続を果たすか”という問題について、生産性向上の観点から事例を共有しました。

講義概要

1. 生産性向上について

生産性向上の手法を体系的に理解し、支援先事業者の個別状況に応じて、より楽に、より高い成果が見込める“生産性の高い生産性向上”を目指していくことの重要性について講義しました。

種類	産出量	投入量
売上拡大	増加	維持 or 微増
付加価値向上	増加	維持 or 微増
コスト削減	維持	減少
業務効率化	増加 or 維持	減少 or 維持

2. 生産性向上の支援

- A社の事例（捺染型・印刷版製造業）

部門ごとの業務負荷のばらつきを解消することで全体の生産性を向上させた事例について紹介し、設備導入を検討する際のポイントについて講義しました。

- B社の事例（はちみつ製造業）

新商品開発が既存事業の生産量低下を招いた生産性向上の失敗事例について紹介し、生産性の伸び率を多面的に捉えた効果検証の重要性について講義しました。

3. コロナ禍における生産性向上

- C社の事例（塗装業）

外出自粛の影響を受けて、来店による対面営業からオンラインでの非対面営業へ切り替えていく中で、生産性を落とさずにむしろ付加価値を向上させることでV字回復を果たした事例について紹介し、コロナ禍における生産性向上の着眼点について講義しました。

生産性向上という中小企業診断士の仕事の一丁目一番地ともいえるテーマについて、プロの皆様を対象とした講義を担当させて頂いたことは、私自身も大きな学びとなりました。今後も登壇者としての実績に恥じないような支援を続けて参ります。

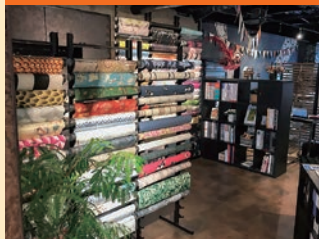
(森井 義英)

5 RULES

“ルールが経営を映し出す”

事務所内観

▼おしゃれな壁紙ショールーム



▲地域の方々が住まいの相談もできるカフェスペース

誰しも自分に課しているルールがある。
京都の“イマ”を創り出す経営者に聞きました。

「あなたのルールは何ですか？」



株式会社 クレバー
山本 潤三 様



1994年24歳の時に独立。2003年に現社名へ。
壁紙をコア商材とした内装業から、BtoC向けのリノベーションビジネス、そして不動産業と事業を拡大。
人手不足が叫ばれる業界で若手人材が集まる会社にする優れたビジネスプランやユニークな人材育成システムで受賞実績をもつ経営者。

RULE.1 「危機感」と「やったらええやん」こそが新たな経営アイデアを産む。

次々と生み出される優れたプランや新事業の源泉にあるのは、経営環境への危機感とやったらええやん精神。

関西建築業況のピークアウトを敏感に感じ取り、マーケット規模が限られたBtoB内装工事業のままではいけないという危機感とイマを変える挑戦マインドから、BtoC向け空間コーディネート総合プロデュース事業「Atelier Box」が生まれた。

結果、お客さまへの付加価値向上は勿論、職人以外にもインテリアに興味がある美大生など今後の事業を変える人材が入社するなどの変化を生み出した。

RULE.2 日曜は、家族と一緒に過ごす。

人材育成に必要な三要素は継続、尊敬、そして最も大切なのは家族円満であること。

家族の幸せのために仕事に励む状態が、長期で見た場合にその人を最も成長させる。

社長自身も、日曜は必ず家族と過ごすことにしており、買い物や旅行を楽しんでいる。年頃の娘、息子とは二人きりでなんでも話し合える間柄だ。そんな子どもたちから「働いてみたい」と思われる会社になりたい。

家族からみて「いい会社」に見えるのが、本当にいい会社だ。

RULE.3 「人材育成見える化」は徹底的に。

なぜ、内装工事業界は、辞める人が多いのか。

この問題の本質は、①教える人が教え方を知らない、②見合った給料が貰えないと感じることに行き着いた。

そこで、山本社長が最初にとった行動は、従業員に聴くことだった。真摯に従業員と向き合い、社内外での発表やイベント企画をしていく中で、「背中をみて覚える」という教え方を見える化する挑戦が始まっていった。

「皆で活躍できる場を作ること」を大事にする山本社長だからこそ、人材育成の見える化には徹底してこだわった。結果、属人化せず、指導やスキル評価をわかりやすく示した200項目の「ステップアップ定性評価システム」が生まれた。

RULE.4 心から信頼できる人と仕事をする。

信頼できる従業員とともに事業を大きく育て、責任範囲や付加価値を明確にするために部門の分社化を進めている。

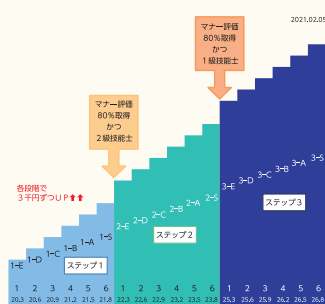
分社化した会社の要職には信頼できる従業員に就いてもらう。流行りのM&Aを活用し、事業を急成長させる方法もあるが、今は考えていない。

分社化は、実は壮大な人材育成プログラムでもある。分社化によって責任を伴うポジションが必要となり、そこを志す人材を生み育てる。事業が人材を育て、人材が事業を成長させ、また分社化を起こす。

自分は幸か不幸か「旧式の人間」。

心から信頼できる人とともに、ゆっくりでもいいので自社のペースで事業、人材を育てていく考えだ。

ステップアップ制度フロー



▲ステップアップ定性評価システム概略図

RULE.5 機会を与えるリーダーで、みんなが活躍できる“場”を創り出すプロデューサーとしての経営者であり続ける。

「人生の中では、みんなが主役。だからそれを支えるのが自分の役割」

自身の職人時代の経験の積み重ねの中で、自らがやりたいと思える場を提供したい、こんな想いを持つようになった山本社長。従業員の働き方や人生が豊かになる機会、またお互い尊敬や感謝を言い合える場を創出することこそが経営者の役割であると考えている。

この本音の経営感こそが、事業領域拡大や若手人材の獲得、人材育成評価見える化システムの開発、経営層ポストの拡大などの経営判断ができるクレバー成長の秘訣なのである。

今後、人材育成評価のIT化など、山本社長の従業員を大事にする新たな挑戦は続いていく。

(集英会：内藤 朗人・松田 健)

はんなり診断士 年男・年女



稲本 知弘

明けましておめで
とうございます。

企業内診断士23
年目の稲本知弘で
す。人生100年時
代、今年は5回目の

年男を迎え、次のステップに向け準備を始めようと思
います。皆様、よろしくお願い致します。



浦出 奈緒子

昨年息子が成人
し、今年は同じ寅年
の娘が、私が娘を
産んだ時と同じ24
歳になります。親の
役目も一区切り。昨

年、開業届を出しました。これからは自分の好きなこと
も仕事にして、楽しんでいきたいと思います。



柿原 泰宏

気が付けば、赤い
ちゃんちゃんこが似
合う年齢になってい
ました。

今年は、大いに仕
事し、大いに遊び、

写真のそらやんのようにあちこちを飛び回る躍動感ある
1年にしたいです。皆さん、一緒に頑張りましょう。



橋本 浩司

還暦の節目とな
りました。入会し
て10年経ちました。
今まで出会えた方々
から学ばせて頂いた
ことに感謝です。新

たな学びの場として風情を感じ文化に親しむ茶道教室を
開きたいと考えています。



秋田 英幸

診断士を取得してから20
年が経過しました。

実務経験を積むつもりで
入った商工会議所勤めが思い
のほか長くなりましたが、廻
り年を契機に独立致します。
今年は激動の1年になりそう
です。



森川 大介

前回の寅年は社会
人2年目、診断士の
勉強を始めた年でした。
今年は福知山市
を拠点に、また新た
な一歩を踏み出した

と考えております。皆様、ぜひ京都北部にお越しくだ
さい。本年も宜しくお願いいたします。



石井 規雄

毎年、新しいことに挑戦し
ていますが、今年は何をしよ
うか考え中です。診断士に登
録して9年目になりました。
さらなる飛躍を遂げられるよ
う、日々邁進していきたいと
思います。今年もどうぞよろ
しく願いいたします。



My favorite

診断士のお気に入り

西山こっぺ堂 (長岡京市)

佐藤 智美

私のお気に入り、絶品コッペパンサンドの「西山こっぺ堂」。阪急西山天王山駅前にある小さなお店で、休日にはお店の外まで行列ができる人気店です。卵焼きなどを挟んだおかず系や生クリームなどをはさんだおやつ系などたくさんの種類のコッペパンサンドがお店に並んでいます。中でも私のイチオシは、休日限定のローストビーフサンド。ふわふわのコッペパンにぎっちりお肉が挟まっていて、ほおばるとしみじみ幸せを感じます。開店後1時間で売り切れることもあるという幻の逸品ですが、機会があればどうぞ！

ところでこの西山こっぺ堂は病院の敷地内にあり、経営母体は病院を運営する一般財団法人なのだそう。使用するパンもグループ内の就労



ローストビーフサンド。休日限定、1日10食限定の幻の逸品です。

支援施設から納入されており、まさにグループ総力で運営されています。診断士のお仕事で、企業以外の形態の法人に関わることは少ないように思いますが、財団法人の多角化成功例としてもご紹介させていただきました。

次号は角丸善昭さんです。

京都の診断士だったら
知っておきたい基礎問題にチャレンジ!!

京都
検定

京都・観光文化検定試験®
京都商工会議所

本事業は
京都検定を応援しています

Q 祭神は水の供給を司る神様として崇められ、平安時代には雨乞・雨止み祈願で勅使も遣わされた神社はどこか。

(第17回 京都・観光文化検定試験 2級(11) より引用)

A ①上賀茂神社 ②大原野神社 ③貴船神社
④梨木神社

表紙の写真と連動した問題をセレクトしてお届けします。

京都診断協会の行事予定

2022年1月 新年祝賀会は中止となりました。
2022年2月26日(土) 理論政策更新研修
(メルパルク京都)

編集後記

昨年は一昨年に引き続き波乱の年でした。さて、明けて令和4年はどんな年になるのでしょうか。まだまだコロナの完全収束は見込めず、政治、経済、国際情勢、いずれも様々な問題を抱える中での年明けとなりました。今は私たち第二次世界大戦後に生まれた世代にとっては初めて迎えた非常時と言えるでしょう。しかし、決して悲観的にならず、希望を強く持って生きて行きたいと改めて思います。(足立 早恵子)

③貴船神社 『新版 京都・観光文化検定試験公式テキストブック』(淡交社刊)より引用。貴船神社は、神武天皇の皇母の玉依姫が浪速の津(現在の大阪湾)に出現、水源を求めて貴船川に乗って貴船川をさかのぼり、当地に祠を建てた事に始まるという。古くから水の供給を司る神として崇められ、朝廷は度々雨乞・雨止み祈願で勅使を遣わしている。貴船川は鴨川の源流にあたり、古くから水の神として崇敬を集めた。平安時代末期から治4年までは上賀茂神社の摂社でもあった。